

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	11	事業名	まちづくり協働事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1「やってみたい」でつながるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 第6次長久手市総合計画、長久手市地域協働計画、長久手市協働まちづくり活動補助金交付要綱、長久手市NPO法人設立支援助成金交付要綱		2-1-9 まちづくり協働費	
	事業開始の背景、経緯等	高齢化・人口減少・大規模災害の課題を乗り越え、将来にわたって住みよい長久手市にするために、地域住民自らが地域の将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り地域課題の解決に取り組む必要がある。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) まちづくりに市民が参加し、対話を深め、協働を進めていくための施策・事業や仕組みづくり、市民が持つ知恵や活力をまちづくりに生かしていく事業
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、市民活動団体、NPO団体
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民等が、まちづくりに参加し、対話を深め、協働を進めていくための施策・事業や仕組みづくり、市民等が持つ知恵や活力をまちづくりに生かしていく状態。

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業費(A)	千円	予算	3,057	2,840	3,006	6,830	2,708
			決算	2,358	1,907	1,658	2,025	
	人件費(B)	千円	決算	8,780	9,655	7,551	7,551	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	11,138	11,562	9,209	9,576	
	事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	-		-	-	-	-	-
	対象あたりコスト(C/D)	千円		-	-	-	-	-

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業評価シートの得点割合	%	目標		-	-	-	-
			実績	-	-	-	-	-
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠)						
協働まちづくり活動助成事業について、事業終了後に行う成果報告会で、アドバイザーによる事業評価を行い、事業の達成度を点数化する。		評価する10項目(0～4点の5段階評価)のうち、5項目で評価できる(3点)、5項目である程度評価できる(2点)を獲得した割合である。						
(前年まで変更した場合はその理由)		昨年度までは、補助団体数を成果指標としていたが、補助団体数よりも、補助団体が市と協働し発展性のある事業を行ったかどうか重要であるため、事業評価シートの得点割合を成果指標とした。						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 昨年度までは達成状況を数値化することが出来ていなかったが、新たに事業評価シートを作成して数値化できるよう改善した。また、成果報告会でのアドバイスを受けて、活動を継続している団体がある。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 「NPO法人デジタルライフサポーターズネット」は、補助事業終了後も、長寿課と協働し事業を行っている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 協働担当課との協働が、場所貸し程度の団体があるため、事業の内容において、協働できるよう努力する必要がある。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	まちづくり協働事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン】 まちセンカフェ実施回数【単年】	回	見込	5	5	5	5	5
			実績	10				
	(3) 【アクションプラン】 交流会実施回数【単年】	回	見込	1	1	1	1	1
			実績	2				
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> まちセンカフェ事業では、月1回のまちセンカフェで市民と交流するだけでなく、市民活動交流会を開催し、市民団体同士が交流するきっかけの場を提供した。						今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	協働まちづくり活動助成事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	団体等が主体的に活動している事業なので、市民参加の人数を把握することは難しい。				
			実績					
	(2) 【アクションプラン】 協働まちづくり活動助成団体数【単年】	団体	見込	10	8	9	9	10
			実績	7				
	(3) 【アクションプラン】 NPO法人助成団体数【単年】	団体	見込	1	1	1	1	1
			実績	1				
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 補助団体(全8団体(2)7団体、(3)1団体):NPO法人デジタルライフサポーターズネット、ういいういの会、キッズボランティアサークルあそびすと、子づれ備災クラブ、あいち手作り甲冑サポート塾、まごっこエコ、長久手ねこ教部、NPO法人ながいく						今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
			実績					
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>						今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) まちづくり協働事務事業については、まちセンカフェなど、参加者が固定してきているため、より新しい参加者を取り込む工夫が必要である。また、協働まちづくり活動助成事業については、令和2年度から学生枠を設置し、より幅広い市民団体への補助が可能になる。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 協働まちづくり活動助成事業については、補助団体が長期的に協働担当課と協働し、最終的には委託事業として市の事業を担う団体へと成長することが目標である。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・行政改革指針に係る「協働事業の拡大」、「市民参加の仕組みづくり」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。
内部意見への回答		